

業務名称：「2022～2024年度 民間連携促進のためのJICAコラボデスク運営支援業務」

意見招請（公示日：2021年10月26日）において寄せられたご意見と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
関西センター

通番	資料名	該当頁	項目	意見・質問	回答
1	業務仕様書	p. 3	業務の内容	(1)民間企業対応業務 ④における個別相談会とは必要に応じて関連機関の相談員の方々に面談に同席いただくものでしょうか。	基本的にはコラボデスクとJICA関西で企業との面談を実施しますが、必要に応じて中小機構や他の支援機関の相談員に同席いただく可能性はあり、今後増えていくと予想されます。ただその場合は支援機関に了解を得て同席いただくこととなります。
2	業務仕様書	p. 3	業務の内容	個別相談会とは個別相談ということでしょうか。	ご理解のとおりです。
3	業務仕様書	p. 4	業務の内容	(2)セミナー・イベントの実施 ②の中の企画立案について、現段階でどういったものを想定をしていますか。	昨年度はJICA内からの提案に基づいて国別セミナーを実施していました。来年度以降は、JICA関西による分野別セミナーの企画立案に加え、コラボデスクからセミナーを立案していただく事を考えています。特にwithコロナ、afterコロナの状況の中で関西の企業がどのような海外展開を考えているのか情報収集・フィードバックしていただく中で、関西の企業向けにどのようなセミナーを開催したらよいか企画いただくことを希望しています。従来の国別・分野別セミナーのみならずSDGsをテーマに含めたセミナーにおいて、「関西の企業にとって有益なセミナーとは何か、特に今後先が読めない中でどう展開していけばいいのか」という観点から情報収集・分析および企画立案をしていただくことを想定しています。
4	業務仕様書			現在国別・分野別セミナーについてはJICAで講師の内諾までとって、その後コラボデスクで講師と内容の調整、実施、運営、事後アンケートの取りまとめ等を担当しています。企画立案をコラボデスクとするセミナーと、現状と同様の方法で実施するセミナー両方あるという認識でよいでしょうか。	ご認識の通りです。企画立案の内容によっては、JICA関西で交流のない方に講師をお願いすることも想定されます。その場合JICA関西と内容を協議した後、講師の内諾取付からコラボデスクに依頼する可能性もあります。一方、JICA関西で企画するセミナーについては従来通り講師の内諾までJICA関西で担当し、それ以降をコラボデスクにご担当いただきます。
5	業務仕様書			業務の内容（4）情報発信業務③について、現在のFacebookでの発信業務の頻度はどの程度ですか。	JICA関西全体では頻度は高いですが、企業連携課では2か月に1回、年6本程度で多くはありません。しか「SDGsとどう向き合っているのか分からない、その事例を知りたい」という中小企業からの要望が多くなっています。この要望に対し、企業の取り組み事例をFacebookで時々紹介しています。そのほかには、インターンの大学生やOJTでJICA関西に来た新入構員が研修での取り組みを投稿しています。コラボデスクには、関西の企業との窓口として、企業にJICAの企業支援の内容が分かる記事を期待しています。